

2014(平成26)年度
理学研究科 化学専攻 博士前期課程 教育課程表(2013年度入学者から適用)

分野	授 業 科 目	単 位			担 任 教 員	備 考
		講義	演習	実験 実習		
合成系科目	(後)有機化学特論	2			教授 理博 上村大輔	
	(前)有機金属化学特論	2			教授 理博 加部大義	
	(前)錯体化学特論	2			教授 理博 川本達也	
	(後)超分子化学特論	2			教授 博(工学) 木原伸浩	
	(前)無機合成特論	2			教授 理博 野宮健司	
	(前)有機化学論講	2			教授 理博 上村大輔 教授 理博 加部大義 教授 博(工学) 木原伸浩 教授 理博 菅原正	
構造・評価系科目	(前)高分子合成特論	2			教授 理博 山口和夫 講師 工博 中濱精一	
	(後)構造化学特論	2			教授 理博 天野力	
	(後)物性化学特論	2			教授 理博 菅原力	
	(前)環境分析化学特論	2			教授 理博 西本右子	
	(後)物理化学特論	2			教授 理博 平田善則	
	(後)環境化学特論	2			教授 工博 堀久男	
共通科目	(後)計算化学特論	2			教授 工博 松原世明	
	(前)化学特別講義	2			教授 理博 川本達也 教授 Ph.D. 小出芳弘 助教 博(理学) 力石紀子 講師 博(工学) 高山俊夫 講師 理博 辻本和雄	
	(前)先端機器分析演習		2		教授 理博 天野力 教授 理博 加部大義 教授 博(工学) 木原伸浩 教授 理博 鈴木季直 教授 理博 西本右子 教授 工博 松原世明 講師 博(理学) 中西淳	
	(前)化学英語	2			教授 渡辺毅	
	(後)化学論文英語	2			講師 杉谷嘉則	
	(前)学外研修Ⅰ (後)学外研修Ⅱ			1 1	専任教員全員 専任教員全員 専任教員全員	
演習・研究	(前)化学特別演習Ⅰ		1		教授 理博 天野力	
	(後)化学特別演習Ⅱ		1		教授 理博 上村大輔	
	(前)化学特別演習Ⅲ		1		教授 理博 加部大義	
	(後)化学特別演習Ⅳ		1		教授 理博 川本達也	
	(前)化学特別研究Ⅰ			3	教授 博(工学) 木原伸浩	
	(後)化学特別研究Ⅱ			3	教授 理博 菅原正	
	(前)化学特別研究Ⅲ			3	教授 理博 西本右子	
	(後)化学特別研究Ⅳ			3	教授 理博 野宮健司 教授 工博 平田善則 教授 工博 堀久男 教授 工博 松原世明 教授 理博 山口和夫	

指導教授及びアドバイザー

学生が主として指導を受ける教員を指導教授といい、教育・研究を円滑に進めるために指導を受ける指導教授以外の教員をアドバイザーという。なお、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを担当する教員が指導教授となる。

履修方法

指導教授の指導によって30単位以上を修得すること。その内訳は次のとおりとする。

1. 化学特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは必修とし、2年間にわたり4単位(修業年限の短縮が認められた者については2単位)を修得すること。
2. 化学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは必修とし、2年間にわたり12単位(修業年限の短縮が認められた者については6単位)を修得すること。
3. 合成系科目および構造・評価系科目からそれぞれ4単位以上(修業年限の短縮が認められた者についてはそれぞれ8単位以上)と共通科目(学外研修Ⅰ、学外研修Ⅱを除く)から6単位以上を修得すること。
4. 化学英語・化学論文英語は必修とし、計4単位を修得すること。
5. 理学研究科他専攻開講の授業科目、指導教授が特に必要と認めた他の研究科の授業科目及び他大学大学院(神奈川県内の大学院間の単位互換協定校)の授業科目(講義科目のみ)を6単位まで修了要件として必要な単位に換算することができる。
6. 「学外研修Ⅰ」「学外研修Ⅱ」の履修については、担当教員に確認すること。
7. 長期履修制度に関する所定の手続きに従い申請等を行うことにより、修業年限を3年または4年とすることができる。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上(修業年限の短縮が認められたものについては、1年以上)在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程第2年次以上(修業年限の短縮が認められたものについては、1年次以上)に在学し、所定の授業科目について20単位以上を取得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

2014(平成26)年度

理学研究科 化学専攻 博士後期課程 教育課程表(2011年度入学者から適用)

分野	授 業 科 目	単 位		担 任 教 員	備 考
		講義	演習		
合成系	合成特別研究	4	6	教 授 理博 上 村 大 輔	
		4	6	教 授 理博 加 部 義 夫	
		4	6	教 授 理博 川 本 達 也	
		4	6	教 授 博(工学) 木 原 伸 浩	
		4	6	教 授 理博 野 宮 健 司	
		4	6	教 授 理博 山 口 和 夫	
構造・評価系	構造・評価特別研究	4	6	教 授 理博 天 野 力	
		4	6	教 授 理博 菅 原 正 子	
		4	6	教 授 理博 西 本 右 子	
		4	6	教 授 理博 平 田 善 則	
		4	6	教 授 工博 堀 久 男	
		4	6	教 授 工博 松 原 世 明	

指導教授及びアドバイザー

学生が主として指導を受ける教員を指導教授といい、教育・研究を円滑に進めるために指導を受ける、指導教授以外の教員をアドバイザーという。なお、講義及び演習を担当する教員が指導教授となる。

履 修 方 法

1. 学生は、専攻しようとする特別研究科目を選び、指導教授による講義を4単位、さらに演習を3年間にわたり18単位を履修すること。
2. 特別研究履修上、特に必要とする場合は、自専攻、他専攻の他の科目を履修することができる。

修 了 要 件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。